

全国ネット通信

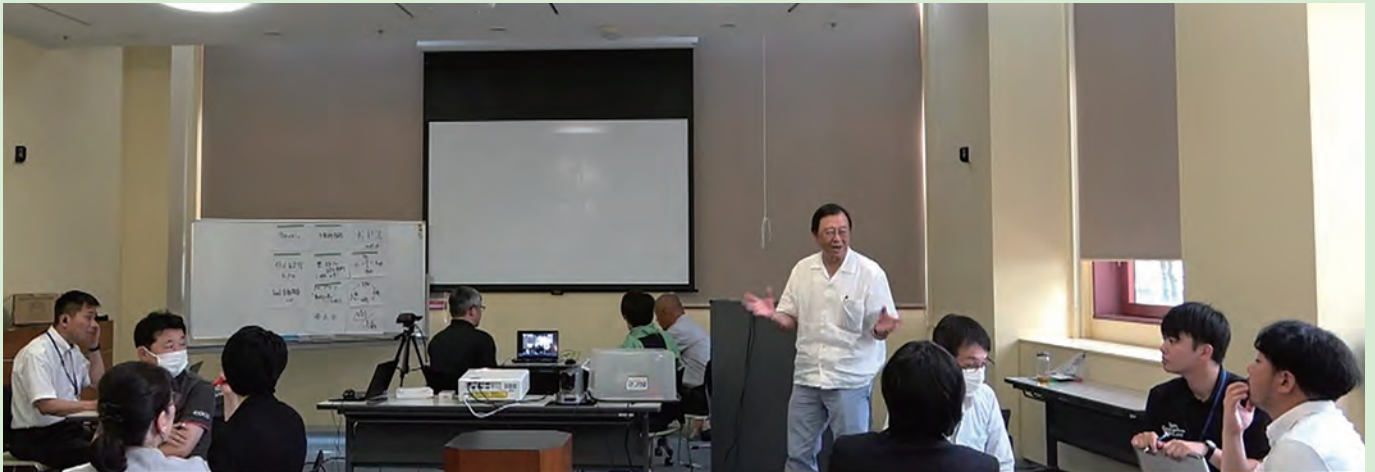
Japan Network for Climate Change Actions NEWSPAPER

Vol. 44
January 2025



Index

文明の転換と社会変革の必要性 (Transformative Change) ……1	大分県センター紹介 ……4	スタッフ紹介 ……6
気候変動教育における現状と課題 ……2-3	うちエコ診断 ……5	「脱炭素チャレンジカップ2025」 ……6
	エコアナウンサー 櫻田彩子のミニコラム ……6	



鳥取県教員研修会の様子

文明の転換と社会変革の必要性 (Transformative Change)

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
理事長 高田 研

これは環境省の第6次環境基本計画に掲げられた言葉です。昨年末、明治日本の産業革命遺産に関わる仕事で、初めて萩を訪れました。新幹線の山口駅からバスで山越えし、たどり着いたのは、かつて萩藩の教育の中心であった明倫館の前。旧市街の外れには、吉田松陰が開いた私塾「松下村塾」の建物が保存されています。

江戸から遠く離れた日本海側の小さな町。その片隅にあった私塾で、松陰が育てた伊藤博文や井上馨といった若者たちは英国に渡り、明治維新の中核を担いました。大河ドラマで知識としては知っていたものの、実際にその地に立つと

感慨深いものがあります。萩の人々にとって、明治維新は今もなお地域のアイデンティティとして根付いているのだと感じました。

昨年は、鳥取県センターとお仕事をさせていただきました。米子市に拠点を置く2人の企業経営者によって運営されています。センターは鳥取県の環境行政と密接に連携し、企業への社会実装から次世代育成まで計画的に取り組んでいます。

平田事務局長がCOP28に関する報告で述べていましたが、鳥取県は2023年、ドバイで開催されたCOP28に3人の若者を派遣し

ました。また、昨年度から県教育委員会と連携し、気候変動教育の教職員研修を2回実施。教員のモチベーションを高め、次年度には研究授業校を選定し、その翌年には教育モデルを完成させて県内全域へ展開する計画が進められています。これは、2050年の脱炭素社会を担う人材を育成するための重要な教育実装計画です。

東京中心の文明構造を覆す可能性が、この日本海側の小都市・米子で着実に育まれていると感じます。さらに、鳥取県は石破新総理の地元でもあります。新たな年の始まりにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

特集

気候変動教育における

はじめに

気候変動による影響は年々深刻化しており、異常気象、海面上昇、気候パターンの変動など、私たちの生活や自然環境に大きな影響を及ぼしています。気候変動への対策は急務であり、国民一人一人に正しい知識と行動変容が求められています。また、未来を担う若者が正しい知識を学ぶため、我が国でも気候変動教育の必要性が謳われています。

気候変動教育のモデルづくりに向けた取り組み

こうした状況を受けて、我々 JNCCA は今年度の事業として、気候変動教育に関する先行事例の収集を進めています。教育現場では気候変動教育に興味を示してはいるものの、何をすれば良いかわからないために実践できていない学校もあるようです。本事業ではそのような学校の足がかりとなるような事例の収集・公開を目標としており、最終的には教育現場における気候変動教育の更なる普及・展開を目指しています。

授業における具体的なテーマ設定の重要性

気候変動というテーマは非常に幅広く、授業で扱うには、あらかじめ具体的にテーマをしぼることがポイントです。ここでは、「防災×気候変動教育」と「断熱×気候変動教育」の2つのテーマをご紹介します。

防災×気候変動教育

日本は災害が多い国であり、地震や台風といった自然災害に対する防災教育が充実しています。これを気候変動教育と組み合わせることで、気候変動が災害に与える影響をより具体的に理解することができます。例えば、異常気象による豪雨や台風の激甚化など、気候変動がもたらすリスクについて学び、防災と気候変動の関連性を考える授業が行われています。このような統合的なアプローチにより、学生たちは自分たちの生活にも直接関わる問題として、気候変動を当事者として感じるすることができます。

断熱×気候変動教育

防災の他、断熱技術をテーマにした気候変動教育も実施されています。断熱材を使用した建物のエネルギー効率向上は、温室効果ガスの削減に寄与するため、気候変動対策として重要です。このテーマを授業に取り入れることで、学生たちは日常生活での具体的な気候変動対策の手段を学び、新しいライフスタイルを考えるきっかけとなります。さらに、実際の建築物やエネルギー消費の観点から、気候変動問題に対する技術的な解決策についても理解を深めることができます。

まとめ

気候変動への対策は急務です。本事業におけるメインターゲットは学校と据えていますが、気候変動対策は地域と連携を図ることが重要だと考えています。気候変動を学んだ学生が周囲への呼びかけを行い、地域と連携した対策を講じることで、より実効性のある取り組みが広がることを期待しています。

現状と課題

高橋敬子さんにお話いただきました

未来のためのESDデザイン研究所 高橋 敬子

2021年2月刊行のGEO-6 for Youth (UNEP)にてグッドプラクティスを行っている世界の環境教育者として紹介された。IPCC第5次評価報告書の編集業務がきっかけとなり、気候変動教育の研究・実践に携わる。現在は、気候変動教育プログラム（気候変動のミステリー等）の開発・実践を精力的に行っている。



日本の気候変動教育（Climate Change Education、以下、CCEという）の現状と課題について、CCEを小学校から高校、大学まで受けてきた学習者の視点（学校教育の視点）から考察したいと思います。

2021年から2023年にかけて、私立大学生540名（1年生～4年生）に、自身が受けてきたCCEの印象とその理由について質問しました。その結果、CCEを肯定的に捉えている学生は4%、否定的に捉えている学生は85%、記載なしが11%でした（図1参照）。肯定的に捉えた理由のほとんどが、CCE以外の環境教育等について評価していたことから、CCE自体を肯定的に捉えている学生は、ここで示した割合よりも少ないと言えます。また、否定的に捉えた理由として、受動的（知識を提供するのみ）でアウトプットが不足している、暗記のための勉強で何も覚えていない、受けた記憶がない、行動力を育む点では不十分だった、当事者意識や自己効力感には養われないという回答がありました。

ここで、私が注目した学生の意見を紹介したいと思います。

「一方的に悲観的な情報を与え続けられるだけの教育を受けてきました。流氷に取り残されたシロクマの画像や、海面上昇で国土が失われつつあるツバルの画像、気温上昇を示すグラフや気候変動の影響で引き起こされる悪い数値はセンセーショナルで、「環境破壊が進んでいるようだ」と印象づけられましたが、あまりに突きつけられている現実が重過ぎたからなのか、どこか遠くの出来事のように感じていました。」

この意見は、従来のCCEを再考する必要があることを物語っていると思います。具体的には、どのような情報をどのように伝えていくのか、教育を行うことで、どのような力を育ててほしいのか、当事者意識や自己（集団的）効力感を得られる教育には何が必要なのか等の点です。これらの点を教育者の間で意見交換しながら、最適な方法を考えていくことが大切だと思います。それと同時に、CCEの実践事例の収集や整理、モデル授業等を全国的に増やしていくことで、CCEの実践校を増やす仕組みづくりも必要と考えます。

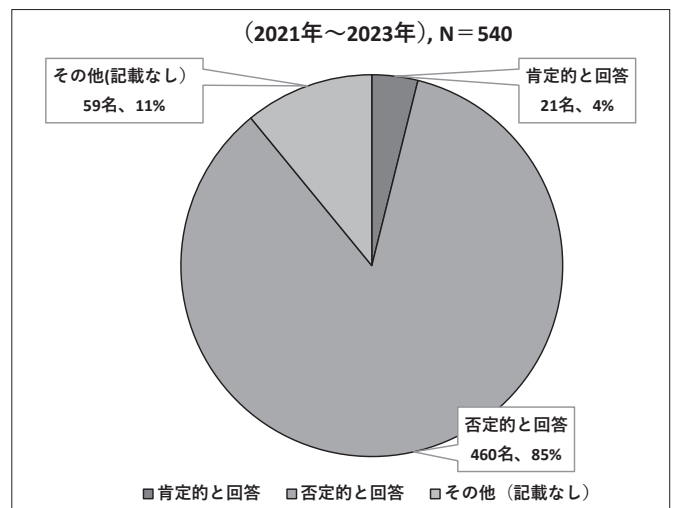


図1：私立大学生が回答した日本の気候変動教育に関する印象

地域センター紹介

大分県地球温暖化防止活動推進センター

NPO 法人アシスト・パル・オオイタは、今年度から大分県地球温暖化防止活動推進センターの指定を初めて受けました。これから地域の企業や学校等と連携して温室効果ガスの排出削減にどう取り組んでいくのかを模索しながら取り組んでいます。現在の活動や、今後のビジョンについてお話を伺いました。



—まずは、NPO 法人アシスト・パル・オオイタについて自己紹介をお願いします。

2002 年日韓共催ワールドカップ大分開催を成功させる県民サポーターの会が母体です。社会貢献活動を目指す仲間たちと 2002 年県知事認証 50 番目の NPO 法人として設立しました。青少年から社会人までが環境保護の理念に基づき学習や事業を行い将来的に活動するリーダーの育成を図り、社会全体の利益増進に寄与することを目的としています。また、自治体や企業等に企画提案し「協働」を試みることで実現可能なソーシャルビジネスの創出を目指します。

—大分県地球温暖化防止活動推進センター以外の活動について教えてください。

里山保全活動をしています。また、大分ドーム周辺の緑地帯におけるツル植物の管理を目的とし、定期的にツルを切り、健康な生態系の維持と美しい景観の保存を行っています。



—初年度はどのようなことに取り組まれていますか？

イベント会場などで LED の普及や、エコドライブ推進活動を行いました。また、企業との連携を試みました。

—大分県だからこそできる事があれば教えてください。

大分県といえば温泉や林業。省エネと環境を考える素地があります。地熱やバイオマスの活用を推進していきたいと思っています。

—今後の展望を教えてください。

環境保全に取り組む企業等との協働のチャンスを増やしたいと思っています。

—最後に、全国の地域センターの皆様メッセージをお願いします。

初めての活動でわからないことや戸惑うことも多いですが、センターとしての活動の基盤を固めて、役目や期待に応えられるように邁進したいです。皆様との情報交換の機会を楽しみにしております。どうぞよろしくお願いたします。



うちエコ診断 WEB サービスの案内

うちエコ診断 WEB サービスでは『たった5分で簡単に！』あなたのお家の光熱費削減につながる効果的な取り組みがわかります。

日本では2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにしていく方向が示されました。より豊かな生活をするためにどんな工夫ができるのか、探ってみませんか？



気になる場所ごとの省エネ診断もできます♪
『うちエコ診断 WEB サービス』ぜひ試してみてください。

EXPO グリーンチャレンジアプリに取り組んで大阪・関西万博に参加しよう

大阪・関西万博では、万博会期前から会場外で、企業や学校、自治体などの団体に呼びかけ、脱炭素社会に向けたレガシーとなるよう“万博をきっかけ”とした様々な温室効果ガス排出量の削減努力をまとめた「EXPO グリーンチャレンジ」を行います。

この取り組みは、大阪・関西のみならず全国に広げていきたいと考えており、まずは、削減量として万博会場までのラストワンマイルにおける温室効果ガス排出量 5.7 万トンに換算できる取り組みが行われることを目標としています。

その中でも特に個人の行動変容を促進するために、「チャレンジメニュー」を設定し、継続して取り組んでもらうことで、「チャレンジメニュー」が大阪・関西万博を通じて当たり前の行動となり、「万博のレガシー」として残っていくことを目指していきます。

あなたの毎日の行動でポイントが貯まる！ポイントを貯めて抽選に参加しよう！

☆グリーンチャレンジメニューの一つである「省エネ行動」にはうちエコ診断が位置づけられており、アプリ上で以下のポイントが付与されます。

うちエコ診断の対面診断を利用した場合	2000 ポイント
うちエコ診断 WEB サービスを利用した場合	500 ポイント

『EXPO グリーンチャレンジアプリ』をダウンロードしてポイントをゲットしよう♪

アプリは AppStore、Googleplay からインストールできます。



ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。
Towards a brighter future for all

開催期間 2025年4月13日(日)～10月13日(月)
Period Sunday, 13 April to Monday, 13 October 2025

開催場所 大阪 夢洲(ゆめしま)
Venue Yumeshima Island, Osaka City



エコアナウンサー® 櫻田彩子の ミニコラム



櫻田彩子 Sakurada Ayako

Profile

エコアナウンサー®。脱炭素チャレンジカップ司会。全国ネット賛助会員。気候ネットワーク理事。Think the Earth 理事。サステナビリティ日本フォーラム事務局次長。

「デザイン」と聞いて皆さんは何を想像しますか。先日、多摩美術大学を退官される宮崎光弘さんと上田壮一さんの展覧会『デザインを読む。』に行ってきました。二人は四半世紀にわたりデザインを通して人、社会、地球、未来を考え作品を生み出してきました。二人が理事を務める Think the Earth は 90 年代後半から地球を宇宙から俯瞰し、社会課題や気候変動への危機感を、デザイン視点で制作物や書籍で伝えていきます。

声高に叫ぶのではないですが、まちづくりや企業活動、教育など暮らし全体を立体的にとらえ表現するデザイン思考の可能性を強く感じました。IPCC でも気候危機対策において SDGs と関連した政策を設計、管理することで相乗効果を生み出すことが可能であると伝えていきます。

その意味で、脱炭素チャレンジカップに挑戦する皆さんは、取り組みを「デザイン」していると感じます。つながる力、クリエイティブな未来思考と実践力を学ぶことができる 2 月 20 日が待ちきれません！



2001 地球時計

スタッフ紹介

事業部家庭エコ課
舟越 有沙



24 年 9 月に入職し、家庭エコ課でうちエコ診断士の資格試験運営事務局を担当しております。

以前は兵庫県で海運系の会社に勤めており、港湾の利用促進事業に携わっていました。海運業界でも脱炭素化が急務とされていて、勉強していく中でだんだんとこちらの業界に興味を持ち、転職に至りました。

東京での新しい生活にも少しずつ慣れてきました。最近の楽しみはお笑いライブに行くことです（イチ押しは真空ジェシカとエバースです！）。笑って心をリフレッシュさせて、環境問題に立ち向かっていきたいと思っています。

うちエコ診断や資格試験につきましては、皆様のお役に立ち、使いやすい仕様でご提供できるよう、日々検討して形にまいります。

そのためにも、皆様とたくさん情報交換させていただけますと幸いです。

今後ともよろしくお願いいたします。



学生の頃は吹奏楽やオーケストラでトランペットを演奏していました。

今楽器は自宅に眠っていますが、またどこかで演奏したいです。

環境大臣賞を掴むのは
どこの団体か！

「脱炭素チャレンジカップ 2025」—CO₂ 排出量の実質ゼロを目指して—

全国から選び抜かれた脱炭素社会につながる活動を実践しているファイナリストが大集結！

「脱炭素チャレンジカップ 2025」は 2 月 20 日（木）、日本科学未来館で、表彰式と交流会を開催します。脱炭素を目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について書類・プレゼンテーション審査を実施し、環境大臣賞、文部科学大臣賞などの各賞を決定します。全国から選び抜かれた団体の取り組みと表彰の様子を、会場またはオンライン配信でご覧ください。

グランプリの栄誉に輝くのはどの団体でしょうか？ 時代の最先端をいく脱炭素の取り組みをご覧ください！

あなたの 1 票で決まる!? WEB 投票で応援しよう！

応募内容のプレゼンテーション動画を YouTube で開催日約 1 週間前から公開予定です。「良い!」と思った動画に高評価ボタンを押して、団体を応援しましょう! 皆さんの投票でマクドナルド・オーディエンス賞が決定します。受賞団体には、「ハンバーガー商品券 1 年分」が贈られます。

脱炭素チャレンジカップ
2025 の詳細はこちら!



□お問い合わせ先
脱炭素チャレンジカップ事務局
(地球温暖化防止全国ネット)
佐藤・平田・ハンサナ
TEL: 03-6273-7785

編集後記

最近秋がなく、冬がいきなり訪れるように感じます。紅葉×イルミネーションという今の気候だからこそ誕生した言葉も耳にしました。これも、気候変動適応策のひとつですよ。

(管理部経営管理課 岩本 彩夏)

地球温暖化防止全国ネット通信 第 44 号 2025 年 1 月

【編集・発行】一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット (JNCCA)
〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-12 九段二ツカナビル 7 階
TEL: 03-6273-7785 <https://www.zenkoku-net.org/>



一般社団法人地球温暖化防止
全国ネットの活動をサポート
してください!

年会費: 個人会員 1 〇 5,000 円
団体会員 1 〇 20,000 円

